

淡徳二郎 たんてく にじろう 評論家。明治二十四年八月十五日大阪生れ、昭和五十一年五月二十日歿（一九二一七七）。筆名馬込健之助。第二高等學校を経て、大正十四年京都帝國大學文學部哲学科卒。翌五年京都學藝專修で検挙、昭和二年日本共産黨に入黨し（二・一五事件）（黨員一齊検挙）に遭ふ。十年大孝塾特派員としてフランスに渡り、更に改造社の歐洲特派員となりて雑誌『改造』に送られたナチス禮讚の現地報告が注目を浴びた。ソ聯抑留後（二十二年歸國）、ナチス占領中のフランス・レジスタンスについて多くの評論を書いた。

譯著書の『レーニン』はクラウゼヴィッツ『戦争論』を如何に讀んだか？—レーニンの新哲學ノートより』（譯—馬込健之助名、昭和七年五月十八日南北書院「プロレタリア文庫」）、クラウゼヴィッツ著『戦争論』全二冊（譯—馬込健之助名、上巻・昭和八年一月十五日、下巻・

一月十五日岩波書店「岩波文庫」）、『戦争と自由』（昭和十六年四月十八日改造社）、『革命の悲劇—パリ・コミンユン史』（昭和二十五年一月二十五日改造社）、『人類・祖国・階級』（昭和二十五年四月二十日北隆館）、『いのちあらたに—戦争犠牲者の生活記録』（共

選・戦後生活調査會編、昭和二十五年六月二十五日坂田書房）、『共產主義への50の疑問』（合著・理論社編集部編、昭和二十六年十月二十五日理論社）、『日本をどうするのわかれのわかれ』（合著・田代喜一郎編、昭和二十七年五月一日外國文化社）、『愛國者への道』

（編、昭和二十七年五月十五日青木書店「青木文庫」）、『祖国の地』（合著・眞鍋英夫編、昭和二十五年十一月二十日二書房「二一」新書）、『モロヤンマ著』『祖国に反逆する—ヤルシエリヤ革命とフランス

久青年(一)試、昭和二十五年十月六日(二)書房(一三)新書(一)等。